

# 豊橋信金推薦では初

## ケーテック「しんきんの翼」の投資先に

本店で  
調印式

産業用自動化設備の設計、製作、保守などを手掛けるケーテック(湖西市白須賀)が信金キャピタルの成長企業向けファンド「しんきんの翼」の投資先となり、28日、契約調印式が豊橋市小坂町の豊橋信用金庫本店で開かれた。同ファンドの投資先として豊橋信金が推薦した初の案件で、東三河と湖西地域の製造業でも初めてとなる。

ケーテックは、大手自動車部品や電気部品のメーカーから受注を受け、産業用自動化設備の設

計、製作、保守などを行い、現場の生産性向上を支援するITソフト、機器も開発する。中国・無錫にも子会社があり、国内外の顧客ニーズに対応している。

しんきんの翼は、信金キャピタルと信金中央金庫が共同出資するファンド。中小企業の成長を支援し、2014(平成26)年6月の運用開始から約2年半で70件、約23億円の運用実績があるという。

豊橋信金は、成長が期待できるケーテックに対して、ファンドによる資金調達は取引先支援として有効と考え推薦。今後も信金キャピタルと連携し、支援していく。

式では、ケーテックの尾本忠謙専務が「今までの経験、ノウハウを自社製品の開発に生かし、日本や中国、アセアン地域に展開を図るとともに、ものづくりを牽引する企業となり、長く支援をいただける会社になりたい」とあいさつ。

信金キャピタルの山口和男代表取締役は「ユースターのニーズにフレキシ

### 創業・育成&成長支援ファンド 『しんきんの翼』調印式



調印書を手にする尾本社長(右から2人目)と尾本専務=豊橋信用金庫本店で

ブルに対応し、1品1品受注。5Sも行き届いている。中国も順調に推移」と投資先に選定した理由を話した。

豊橋信金の山口進理事

長は「当金庫にとつて初めての案件で名譽なことで。将来性、発展性が認められ、事業性評価の最たる例」と述べた。

(中村晋也)